

第4期森林づくり県民税活用事業進捗状況一覧表

※本表では繰越分も当年度実績に含めて計上

事業名	事業主体	補助率	基本方針（2023-2027）		進捗状況（累計）						目標値	進捗率 （目安：40%）	備考 （R6年度までの評価・見直し点等）
			成果目標（5年間）	概算事業費 （億円）	上段：成果実績 / 下段：執行額								
					2023 R 5	2024 R 6	2025 R 7	2026 R 8	2027 R 9	合計			
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり											50% 100%		
①	人工造林・初期保育の高上 （信州の森林づくり事業）	市町村、森林組合、 林業事業体、NPO法人 等	10/10	再造林面積 2,900ha	11.3	247 106,685	238 140,426			485 247,111	2,900	17%	○施業の低コスト化・省力化（主伐～造林までの一貫作業、機械地拵え、低密度植栽、筋刈りの選択等）の推進により、面積当たりの作業量と費用の低減を図る必要がある（生産性を向上し、林業の収益性の改善につなげる） ※再造林面積は段階的に増加させる計画
②	防災・減災のための里山整備 （みんなで支える里山整備事業）	市町村、森林組合、 林業事業体、NPO法人 等	9/10	防災・減災のために必要な 里山の間伐 1,600ha	5.5	160 91,036	177 118,359			337 209,395	1,600	21%	○事業の周知不足及びそれに起因する森林所有者との協定書締結の遅れから事業実績が低迷しているため、協定書の締結の進捗状況も含めて、進捗管理の徹底により確実な事業執行を図る。
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり											50% 100%		
③	開かれた里山の森林整備 （みんなで支える里山整備事業）	里山整備利用推進協議 会、林業事業体等	9/10	県民が広く親しめる 里山整備利用地域の数 50箇所	3.2	8,906	54,436			63,342			○計画通りの取組実施を見込む
	開かれた里山の整備・利活用の支援 （整備・利用推進事業）	里山整備利用推進協議 会	3/4～ 10/10			16	13			29	50	58%	○計画通りの取組実施を見込む
④	あたりまえに木のある暮らし推進事業	民間事業者、市町村、 木材関連事業者が組織 する 団体、県	1/3～ 3/4	木造・木質化等の箇所数 55箇所	3.2	7 14,551	12 22,412			19 36,963	55	35%	○より展示波及効果の高い施設等への支援を拡充し、従来のような身近な施設に加えて、多くの県民が利用する中大規模施設でも県産材に直接触れられる空間創出を支援する（R7～）
⑤	やまほいくのフィールド整備 （信州やまほいく認定団体保育環境向上事 業）	市町村、学校法人、 NPO法人、県	1/2～ 9/10	フィールド整備箇所数 40箇所	0.4	8 5,800	7 5,672			15 11,472	40	38%	○計画通りの取組実施を見込む
⑥	学校林の整備等 （学びと育ちの森づくり推進事業）	市町村、学校法人、NPO法 人、 みどりの少年団育成会等、 県（県立学校等）	9/10～ 10/10	学校林整備等の実施箇所数 30箇所	0.3	19 5,641	5 7,683			24 13,324	30	80%	○学校教育の場でも森林の活用を検討する学校（教員）が増えていることから、積極的に教育へ取り入れてもらえるよう目標値を上方修正して取組を実施したい。
⑦	まちなかの緑地整備事業	市町村、NPO法人、 民間団体等	1/3～ 1/2	緑地整備箇所数 10箇所	1.4	1 1,000	2 4,000			3 5,000	10	30%	○県グリーンインフラ推進計画の改正と並行して、県内市町村等の計画を見直し、必要に応じて基本方針の改正を検討したい（活用額変更の可能性あり）
⑧	まちなかの緑地保全（補助）事業	県 市町村	- 1/2			5 10,031	6 13,671			11 23,702	32	33%	○県グリーンインフラ推進計画の改正と並行して、県内市町村等の計画を見直し、必要に応じて基本方針の改正を検討したい（活用額変更の可能性あり）
⑨	観光地の景観整備 （県単道路橋梁維持修繕費）	県	-	整備延長 20km	0.5	3 10,000	6 10,000			9 20,000	20	46%	○計画通りの実施を見込む

第4期森林づくり県民税活用事業進捗状況一覧表

※本表では繰越分も当年度実績に含めて計上

事業名	事業主体	補助率	基本方針(2023-2027)		進捗状況(累計)						目標値	進捗率 (目安:40%)	備考 (R6年度までの評価・見直し点等)		
			成果目標(5年間)	概算事業費 (億円)	上段:成果実績 / 下段:執行額										
					2023 R5	2024 R6	2025 R7	2026 R8	2027 R9	合計					
Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援													50%	100%	
⑩	森林サービス産業総合対策事業	市町村、県、森林サービス産業提供者等	1/2~9/10	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数 50プロジェクト	1.5	10 16,656	10 28,053				20 44,709	50		40%	○計画通りの実施を見込む
⑪	信州ネイチャーセンター構築事業	県	-	エコツーリズムガイドの育成人数 25人	0.1	6 1,900	8 1,999				14 3,899	25		56%	○計画通りの実施を見込む
⑫	多様な林業の担い手確保育成事業	県 林業労働財団	- 10/10	多様な林業に関わる新規就業者数 200人	1.0	35 5,432	調査中 11,455				35 16,887	200		18%	○小規模な事業者等を主な対象としているが、活用意向はあるものの事務手続きの負担が課題となり活用が進みづらい取組もあることから、意向を正確に把握して適切に活用されるように見直しを行う ○過年度の不執行額は他事業での活用も検討する
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決													50%	100%	
⑬	ライフライン等の保全対策 (市町村森林整備支援事業)	市町村	9/10	整備箇所数 150箇所	2.0	59 69,439	55 62,969				114 132,408	150		76%	○支障木の除去に対する地域ニーズが依然として多い ○ライフライン等の管理者等を含めて調整の上、緊急性の高い箇所を対象に目標値を上方修正して取組を実施したい (活用額変更の可能性もあり)
	観光地の景観整備 (市町村森林整備支援事業)	市町村	9/10	整備箇所数 100箇所	2.0	28 34,810	24 25,710				52 60,520	100		52%	○計画通りの取組実施を見込む
	緩衝帯の整備 (市町村森林整備支援事業)	市町村	9/10	整備箇所数 100箇所		20 15,107	37 32,565				57 47,672	100		57%	○令和5、6年度のツキノワグマによる人身被害の発生状況を鑑み、緊急点検等により対策必要箇所を精査し、目標値を上方修正して取組を実施したい(活用額変更の可能性もあり)
	枯損木の利活用 (市町村森林整備支援事業)	市町村	9/10	枯損木利活用材積 10,000m ³	3.0	832 21,326	2,123 41,510				2,955 62,836	10,000		30%	○計画通りの実施を見込む
	松くい虫被害木の処理 (市町村森林整備支援事業)	市町村	1/2	被害木処理材積 5,400m ³		471 7,733	470 9,872				941 17,605	5,400		17%	○計画通りの実施を見込む (被害状況に応じて柔軟な対応に繋がれるよう、一定の予算を確保 過年度分の執行残額は必要に応じて他事業において活用)
⑭	河畔林整備事業	市町村	9/10	整備箇所数 70箇所	2.0	19 38,510	18 40,050				37 78,560	70		53%	○近年の災害発生状況から、対策に関する地域のニーズが高い状況にある ○近年の降雨や災害の発生状況等を鑑み、目標値を上方修正して取組を実施したい
Ⅴ 普及啓発、評価検証													50%	100%	
⑮	みんなで支える森林づくり推進事業	県	-	-	0.4	13 6,005					13 6,664	-		-	
					事業費計 ※	489,954	660,717				1,150,671				

※事業費計は千円未満を四捨五入している関係上必ずしも各事業費の合計とは一致しない